

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年 9月 1日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年 9月 1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【キャスクへの使用済回収ウラン燃料*装填について】 今後の燃料取出しに向けて、共用プールから払い出す燃料のキャスクへの組合せを検討中、過去に燃料を装填したキャスクについても燃料選定において考慮すべき燃料が無かったか確認したところ、平成25年11月に装填を行ったキャスク2基に装填可否を確認していない使用済回収ウラン燃料4体が装填されていることを確認した。</p> <p>* 回収ウラン燃料とは: 使用済燃料を再処理施設で再処理し、転換・濃縮を行い成形加工した燃料。</p>	G I
2	<p>【高性能多核種除去設備前処理フィルタ2A出口弁(空気作動弁)空気漏れについて】 高性能多核種除去設備前処理フィルタ2A出口弁(空気作動弁)の作動用空気配管継手部から空気漏れを確認した。作動用空気配管継手部に応急処置を行い当該弁の開閉確認を実施し、動作に問題ないことを確認。</p>	G III
3	<p>【2号機 タービン建屋1階南側 漏洩検出器B断線警報発生について】 2号機 タービン建屋1階南側 計装用圧縮空気系・所内用圧縮空気系エリアの漏洩検出器B断線警報が発生した。当該漏洩検出器のヒューズ抜き差しおよび検出器の清掃等を実施し警報が復帰した。</p>	G III
4	<p>【5・6号機 滞留水貯留設備 C5タンク水位計 警報発生につて】 5・6号機 滞留水貯留設備 C5タンク「下限逸脱」警報が約1分間隔で発生／復帰を繰り返しており、当該水位計の指示がふらついていることが確認された。 連結されている他のタンク水位の指示に変化がないことから、当該計器の故障と推定した。 C5タンクの水位は連結されている他のタンク水位計にて監視可能。</p>	G III